

TOTO

レストルームドレッサー システムシリーズ

Mサイズ/Lサイズ キャビネットタイプ (ULF 2B/2C/2D/2E/3B/3C/3D/3E/4B/4C/4D/4E/5D/6D)

このダイジェスト版は、おおよその施工の流れをご理解いただくためのものです。
施工にあたっては、施工説明書本編とあわせてご確認ください。
施工説明書本編にある安全上のご注意、施工上のご注意を必ずお守りください。

※右に示すイラストは、本商品の一例です。
トイレ寸法や商品選定タイプ、オプション選択有無により、部材の形状や設置位置、取付方法などが異なります。
なお、オプションの間口調整フィラー・サイドキャビネットの取り付けについては、本編をご参照ください。

工事店様へ

□スライド扉を閉める際、扉が途中で止まる場合は、いったん全開にしてください。

左スライドの時

右スライドの時

全開

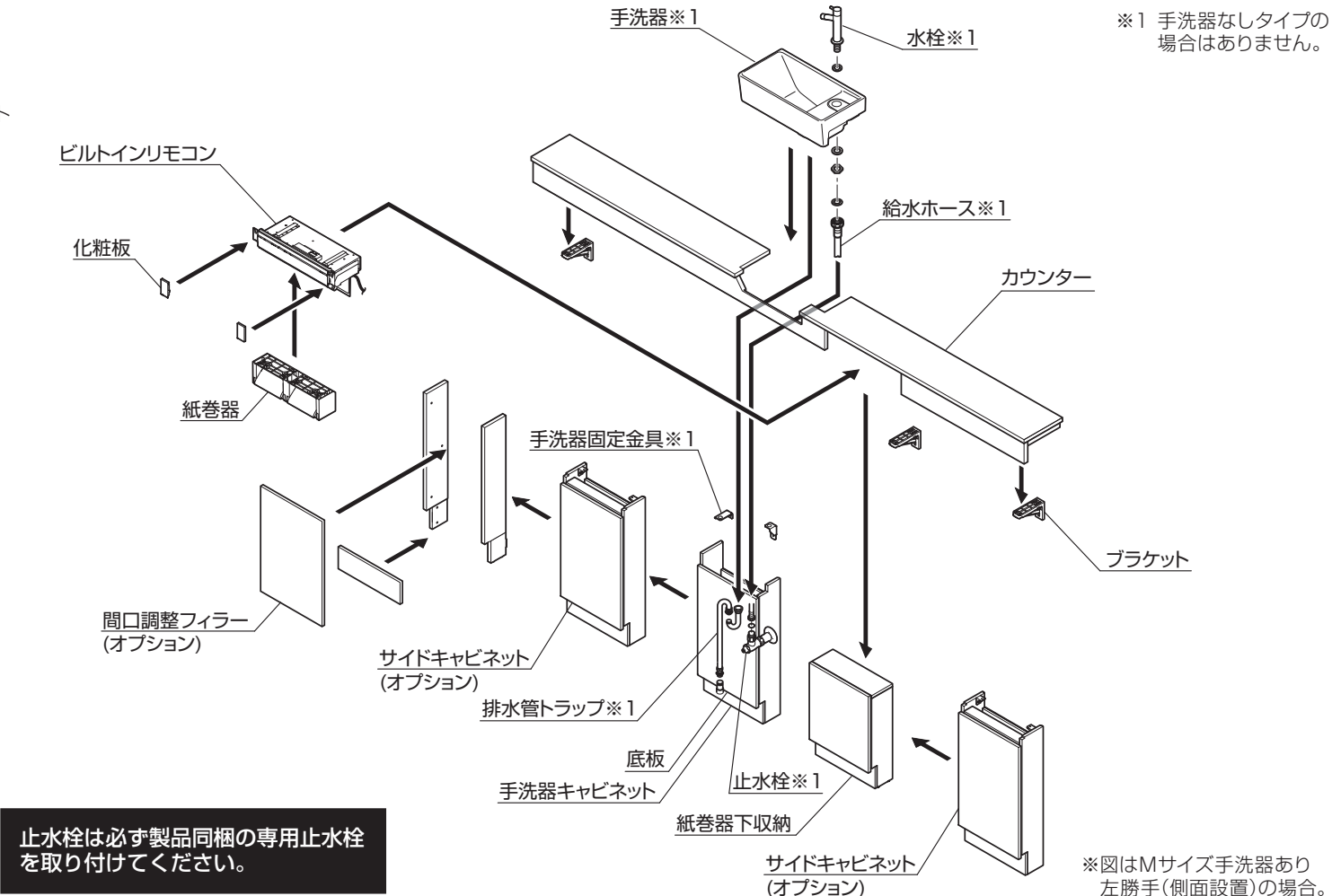
全開

【Mサイズの場合】

□カウンターの補強ダンボールは、切欠部保護のため、カウンターを取り付ける直前まで外さないでください。

補強ダンボール

カウンター



- ステップ1
- 1 施工前の準備
- 2 給排水管
- 3 ブラケット
- 4 オプション部材
- 5 手洗器キャビネット
- 6 止水栓
- 本編 P.24▶P.44
- ステップ2
- ステップ3
- ステップ4

1 施工前の準備 (けがき)

▶本編P.24～25参照

1 排水ソケット (床排水の場合のみ)

【VU40の場合】

【VP40の場合】

1

2

排水管 (設備側)

塗布

塩ビ用接着剤

2 給水管・止水栓 (床給水ハンドル式水栓の場合のみ)

止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓を取り付けてください。

【Mサイズ左勝手の例】

【Mサイズ右勝手の例】

壁仕上げ面

止水栓

排水管よりも後ろに向ける

4 間口調整フィラー・サイドキャビネット(オプション)

※側面設置で手洗器よりも前方に設置する場合
※対面設置で手洗器に向かって左側に設置する場合
▶本編P.30～35参照

1 ブラケット

▶取付位置などの詳細は本編P.27～29参照

水平確認

トラスタッピンねじ $\phi 5 \times 50$ (3本)

2 Mサイズ用手洗器固定金具 (Mサイズ手洗器ありの場合のみ)

▶A寸法は本編P.24参照

1 型紙

2 下穴($\phi 3$)

3

基準線1

手洗器中心

719

A

水平確認

基準線1

トラスタッピンねじ $\phi 4 \times 30$ (4本)

2 給排水ソケット・止水栓

3 ブラケット・Mサイズ用手洗器固定金具

5 手洗器キャビネット

6 止水栓

1 給排水・コンセント用の穴あけ

商品タイプに応じた現場の給排水・コンセント位置にあわせて、手洗器キャビネットの背板に穴をあける。
▶穴位置は本編P.36～38参照

2 手洗器キャビネット

固定ねじ $\phi 4.5 \times 50$ (2本)

1

2

3

けがき線

水平確認

押し当てる

【幅木がある場合】キャビネットまたは幅木をカット

1 スペースで調整

3 コンセントカバー張り付け

1 止水栓

壁給水

給水取出 ($Rc1/2$)

シール

背板

配管用化粧カバー

上向きに

床給水(自動水栓の場合)

給水取出 ($Rc1/2$)

シール

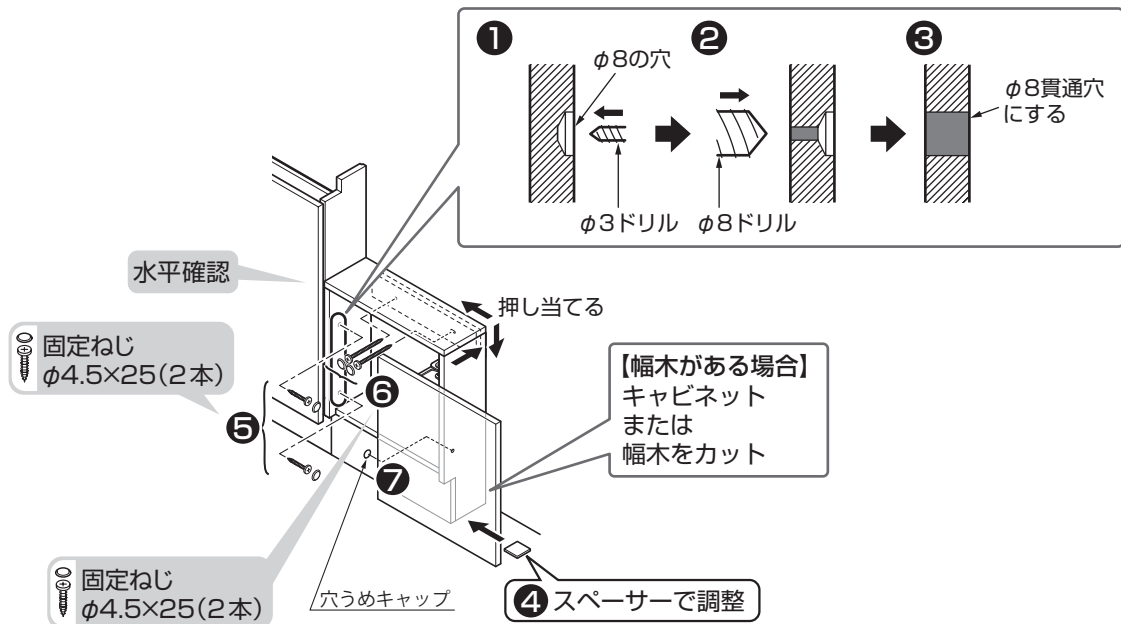
配管用化粧カバー

排水管接続後に接着

※図はMサイズ手洗器あり左勝手(側面設置)の場合。

紙巻器下収納のみの場合

1 紙巻器下収納

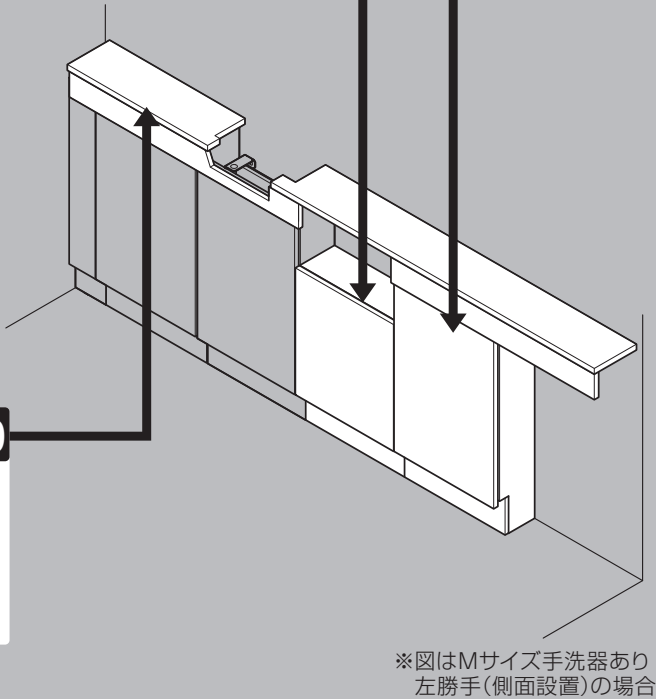


8 間口調整フィルター・サイドキャビネット(オプション)

※側面設置で手洗器よりも後方に設置する場合
※対面設置で手洗器に向かって右側に設置する場合
▶本編P.46～57参照

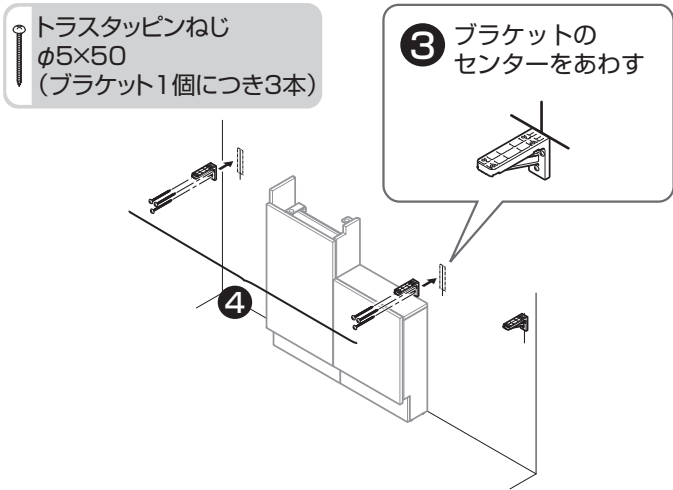
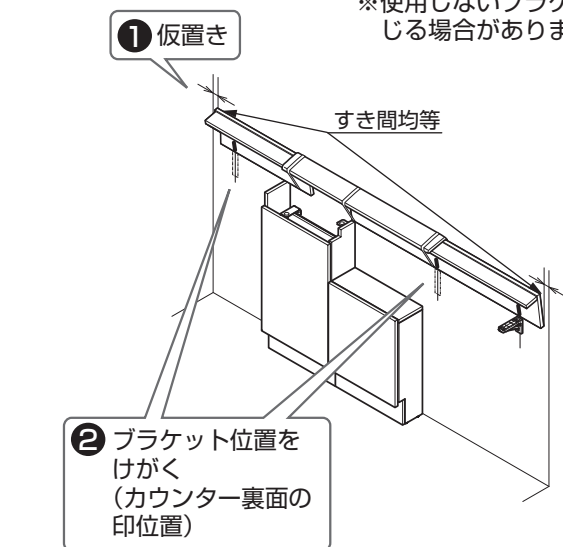
7 紙巻器下収納

10 カウンター

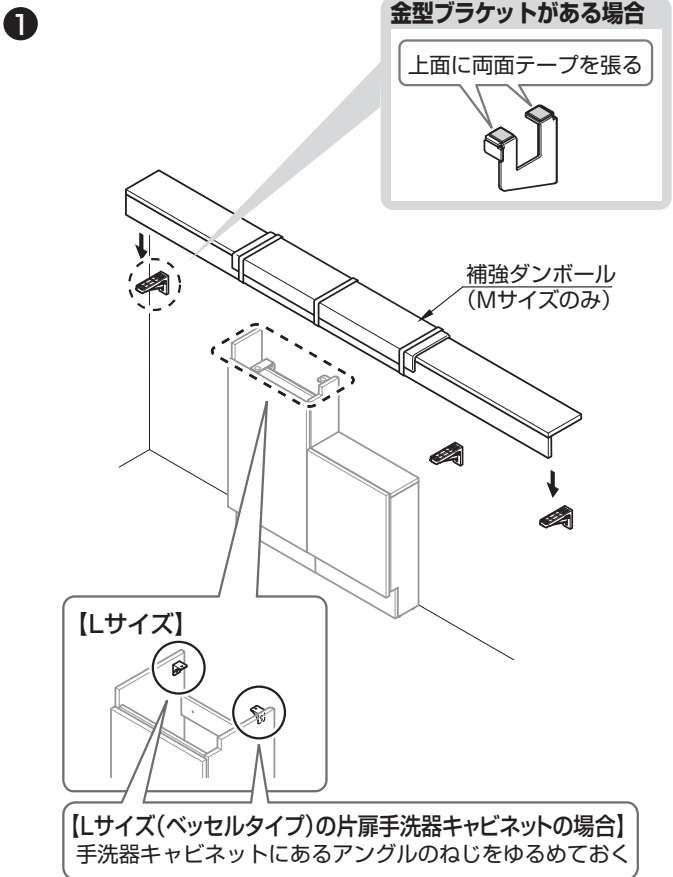


1 ブラケット

※プランによってブラケットの位置・個数が異なります。
※使用しないブラケットが生じる場合があります。



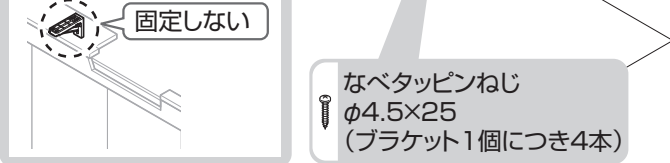
2 カウンターの本固定



2 【Mサイズの場合】補強ダンボールを外す

Mサイズ(両扉)の場合

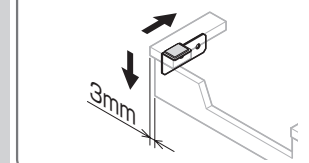
手洗器キャビネット内にあるブラケットは
カウンターに固定しない



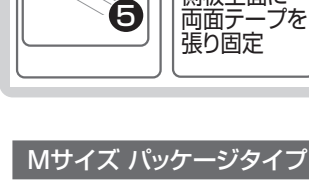
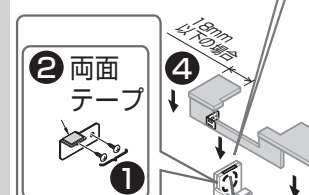
Mサイズ手洗器ありの場合

左勝手の場合

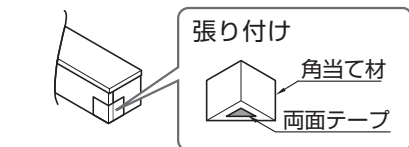
【カウンター長さ1201～1372
(2方エプロン、パッケージタイプ
の場合)】
①、②後、カウンターピースを
両面テープに張り付け



トラスタッピンねじ
φ4×12(4本)

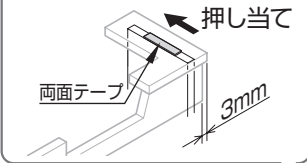


Mサイズ パッケージタイプ(ショート)の場合

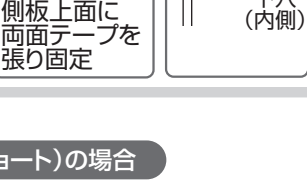
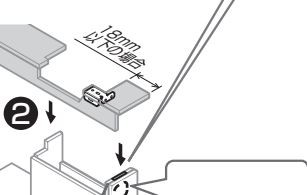


右勝手の場合

【カウンター長さ1201～1372
(2方エプロン、パッケージタイプ
の場合)】
①後、カウンターピースを
両面テープに張り付け

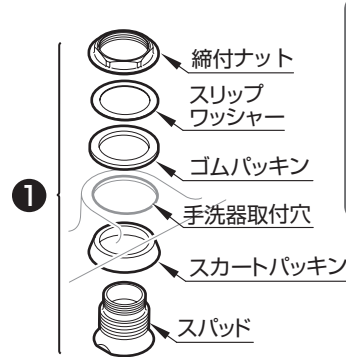


トラスタッピンねじ
φ4×12(4本)

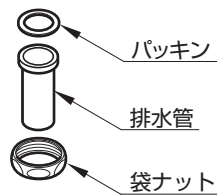


9 排水金具(ボウル一体タイプ)

1 排水金具

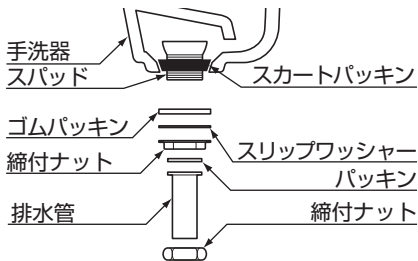


2 カウンターをブラケットにセットしてから排水管を取り付け



1 排水金具

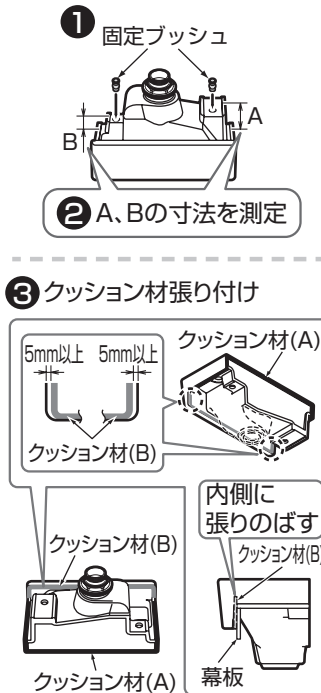
※Mサイズ・Lサイズ(ベッセルタイプ)の場合のみ



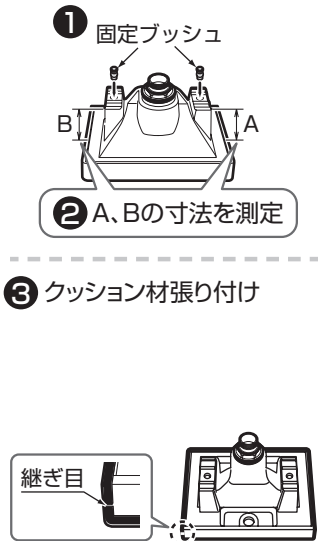
2 手洗器・水栓金具

※ボウル一体の場合は水栓金具のみ

Mサイズの場合

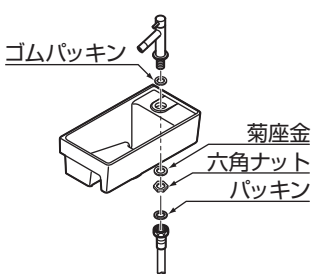


Lサイズ(ベッセルタイプ)の場合



4 水栓本体の取り付け(全タイプ共通)

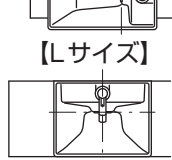
ハンドル式水栓の場合



吐水口の向き

【Mサイズ】

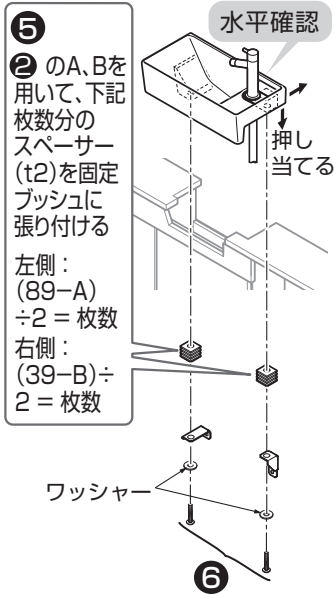
【Lサイズ】



参照 自動水栓の取り付けは、自動水栓施工説明書参照

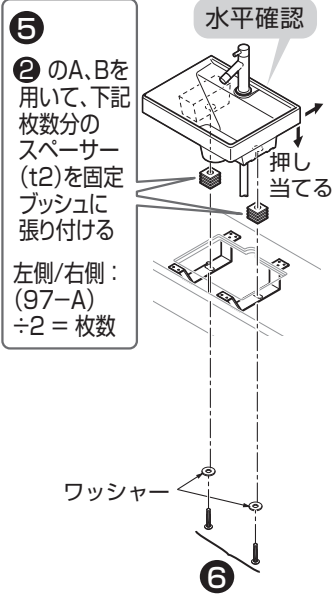
Mサイズの場合

トラス小ねじ
φ5×52 (2本)

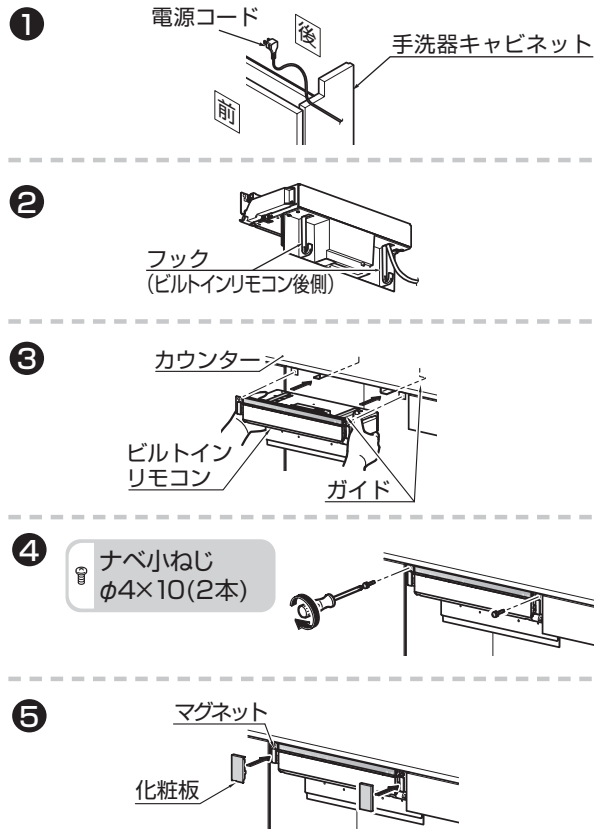


Lサイズ(ベッセルタイプ)の場合

トラス小ねじ
φ5×52 (2本)



1 ビルトインリモコン



11 ビルトインリモコン

12 手洗器・水栓金具

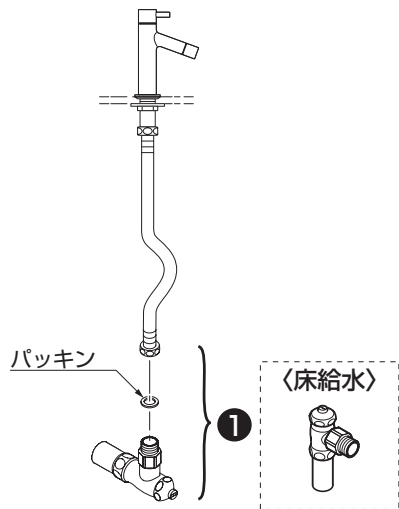
13 給排水

※図はMサイズ手洗器あり
左勝手(側面設置)の場合。

参照 電気温水器・自動水栓の取り付けは、それぞれに同梱の
施工説明書参照

ハンドル式水栓の場合

1 給水ホース

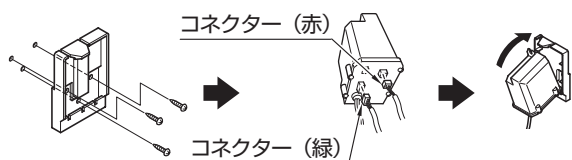


自動水栓の場合

2 コントローラー固定材

▶取付位置は本編P.68参照

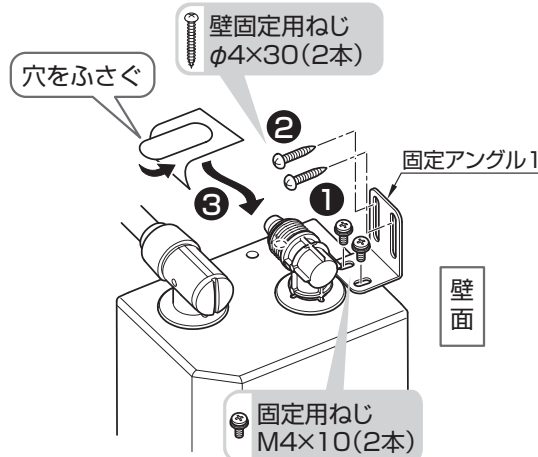
1 トラストッピンねじ
φ4×14 (3本)



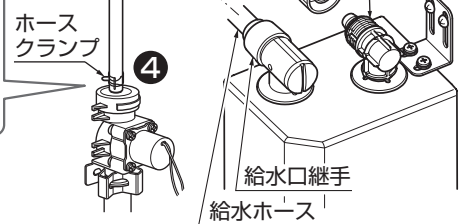
電気温水器付自動水栓の場合

3 電気温水器

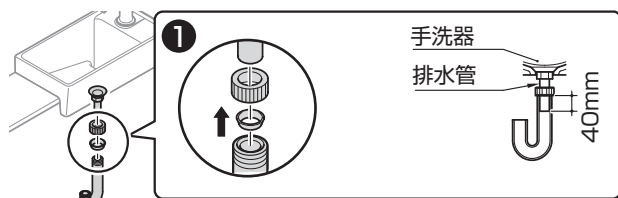
▶取付位置は本編P.69~70参照



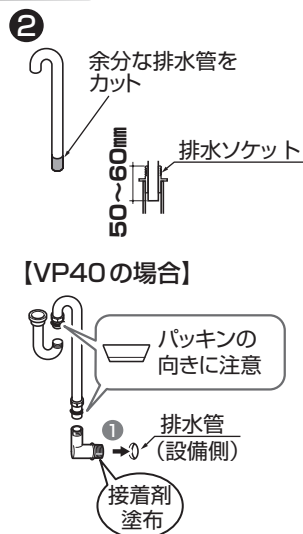
< 寒冷地の場合 >



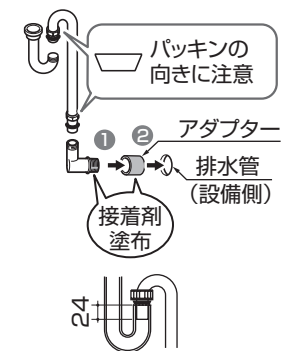
4 排水管の接続



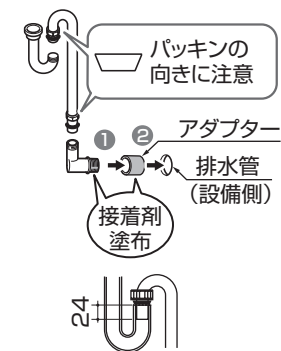
壁排水



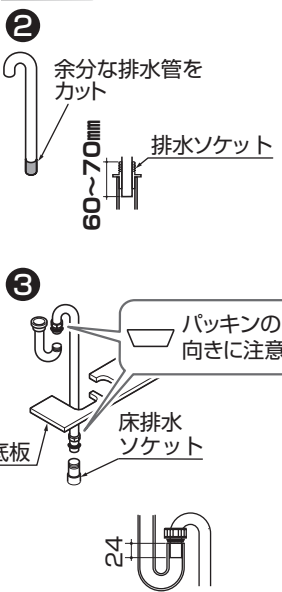
[VP40の場合]



[VU40の場合]



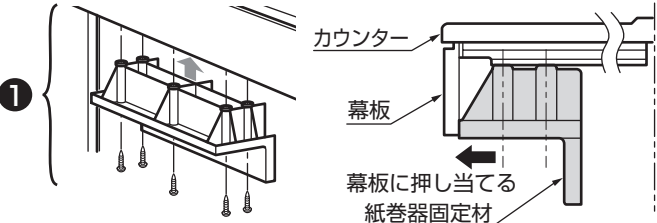
床排水



▶紙巻器設置位置は本編P.8参照

1 紙巻器固定材 (ビルトインリモコンなしの場合のみ)

トラスタッピンねじ
φ4×16(5本)

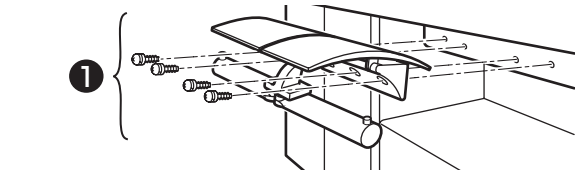


2 紙巻器

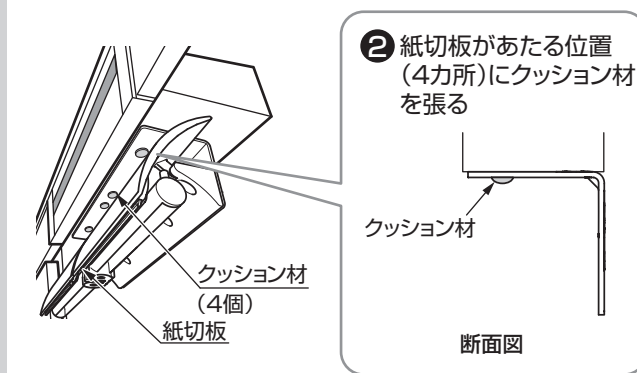
メタル製紙巻器

(ビルトインリモコンあり／なし共通)

なべ座金組込小ねじ
M4×8(4本)



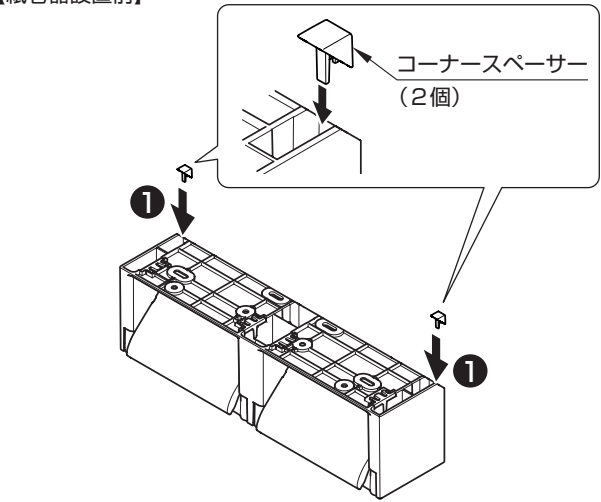
ビルトインリモコンありの場合



樹脂製紙巻器

(ビルトインリモコンあり／なし共通)

【紙巻器設置前】



14 紙巻器

15 配管用化粧カバー

※図はMサイズ手洗器
あり左勝手(側面設置)
の場合。

1 配管用化粧カバー

1 底板を置く

トラスタッピンねじ
φ4×30

背板に固定



3 配管用化粧カバー張り付け

【底板形状(例)】

【ハンドル式水栓で床給水の場合】
コーナーをカット

配管用
化粧カバー
※底板からはみ出る
場合はカット

切り込みは
背板側から入れる

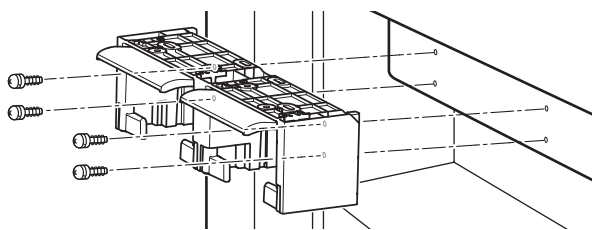
給水管、排水管に
あわせてカット

17 ビルトインリモコン組み合わせ設定

1 組み合わせ設定

▶本編P.82参照

2



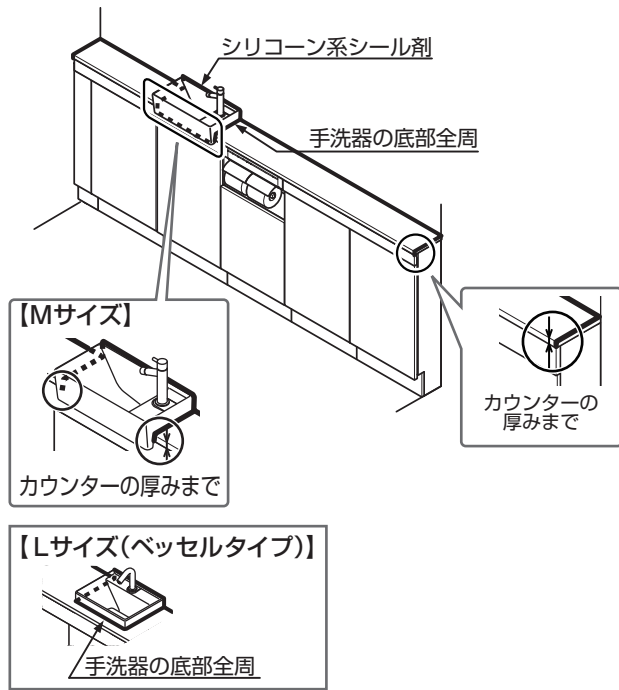
ねじセット③

なべ座金組込小ねじ
M4×12(4本)

16 シリコン系シーラ剤

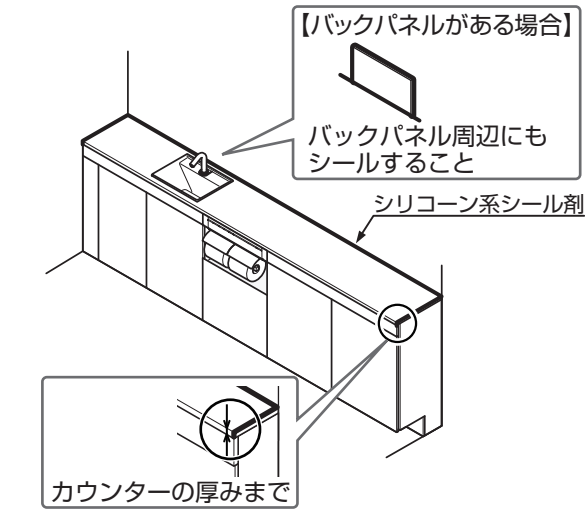
1 シリコン系シーラ剤

Mサイズ・Lサイズ(ベッセルタイプ)



Lサイズ(ポウルー体タイプ)

手洗器なしタイプ



お引き渡し前に、必ず点検してください。